

# 東海村 議会だより

2026.4

第64号



3月20日に開催された「石神幼稚園  
閉園式及び閉園セレモニー」

## 目次

### 3月定例会

令和8年度一般会計予算総額222億円を可決 …	P 2
賛否の分かれた議案 ……………	P 3
村政を問う！〔代表・一般質問〕……………	P 4～12
委員会メンバーが変わりました ……………	P 12
委員会レポート ……………	P 13
就任あいさつ／6月定例会日程（予定） ……	P 14

## 3月議会 あらまし



※全議案の議決結果は  
ホームページでご覧  
いただけます。

令和8年第1回定例会（3月議会）は、3月2日から26日までの会期で開催しました。

各会派の代表質問3人に続き9人の議員が一般質問を行い、予算決算委員会では、一般会計・特別会計および企業会計それぞれ令和7年度補正予算および令和8年度予算を審査しました。

また、議案審議では、令和8年度予算を含む村長提出議案等31件全てを可決・承認・同意しました。

# 令和8年度一般会計予算 総額222億円を可決（前年度比 17億4,700万円の減）

東海村の総合計画「まちづくりの羅針盤」が2年目を迎えるに当たり、こども・わかもの政策や産業振興ビジョンの推進、新たな基盤整備、DXの推進などを重点的な取り組みとして編成された予算案を賛成多数で可決しました。

賛成（16）

反対（1）

### 賛成議員の主張

#### 川崎 克彦 議員

こども・わかもの政策やDX、防災施策、産業振興ビジョンを評価する一方、財政の厳しさや基金への依存、スクラップ・アンド・ビルドの必要性はあるが、持続可能な財政運営を求めた上で令和8年度一般会計予算に賛成。

### 反対議員の主張

#### 大名 美恵子 議員

小学校給食の無償化や5歳児健診の実施等は住民の立場で村政を前進させるもので評価。一方、村政のデジタル化推進による個人情報流出の危険や、子ども・子育て支援金の医療保険料からの徴収は筋違い等、容認できない。

3  
月  
定  
例  
会

## くらしゼロカーボン応援 補助事業がスタート

太陽光発電設備や省エネ家電、EV（電気自動車）購入など、これまで個別に運用していた環境関連の補助制度を一本化し、「くらしゼロカーボン応援補助事業」として再編する予算について可決しました。補助内容はメニュー形式で整理し、新たにエコキュート設置補助が追加されるとともに、住民の皆さまが選択・申請しやすい仕組みに改善されます。環境に目を向ける機会が増えることや、予算が一元管理されることで住民ニーズに応じた柔軟な配分が可能となり、無駄のない予算の執行となることを期待します。



■当初予算額 1,740万円

## 各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

令和8年第1回定例会（3月議会）では、31件の議案等のうち、賛否が分かれたのは9件でした。以下には、賛否が分かれた議案名とその要旨についてお知らせします。

議員名 議案等名	新政とうかい											公明党		光風会		結果				
	飛田静幸	大内則夫	越智辰哉	河野健一	吉田充宏	寺門定範	笹嶋士郎	三上修	松江秀明	川崎克彦	川崎裕弥	宮本翔太	岡崎悟	植木伸寿	恵利いつ		村上志保	大名美恵子	阿部功志	
議案第6号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決	
議案第7号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第8号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第9号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第18号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第19号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第20号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第21号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第30号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

○…賛成 ×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

## 賛否の分かれた議案などの名称と要旨

議案第6号	東海村特定乳児等通園支援の利用時間に関する経過措置に関する条例の制定について 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う子ども家庭庁関係内閣府令の整備に関する内閣府令において、新たに規定された1月当たりの特定乳児等通園支援の利用時間に関する経過措置を定めるため、条例を制定するもの
議案第7号	東海村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う表記の変更等、所要の改正を行うため、条例の一部を改正するもの
議案第8号	東海村個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について 任意予防接種の実施等に関する事務の処理に際し、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項の規定に基づき、同一機関内で保有する地方税関係情報、住民票関係情報等に関し、必要な限度で個人番号の利用を可能とするため、条例の一部を改正するもの
議案第9号	東海村立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について 村立幼稚園が村松幼稚園に再編されることに伴い、条例の一部を改正するもの
議案第18号	令和8年度東海村一般会計予算 予算総額を歳入歳出それぞれ222億円とするもの
議案第19号	令和8年度東海村国民健康保険事業特別会計予算 予算総額を歳入歳出それぞれ28億2,296万7千円とするもの
議案第20号	令和8年度東海村後期高齢者医療特別会計予算 予算総額を歳入歳出それぞれ7億7,929万7千円とするもの
議案第21号	令和8年度東海村介護保険事業特別会計予算 保険事業勘定の予算総額を歳入歳出それぞれ30億642万7千円とし、介護サービス事業勘定の予算総額を歳入歳出それぞれ359万2千円とするもの
議案第30号	東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 子ども・子育て支援金制度の創設による地方税法の改正に伴い、国民健康保険税の算定に際し、子ども・子育て支援納付金分を新たに加えるため、条例の一部を改正するもの

# 村政を問う!

## 代表質問 一般質問

### 代表質問

飛田 静幸 議員 (会派：新政とうかい) P.5

- 1 身の丈に合った予算規模と財政健全化に向けたビジョン
- 2 人口減少への対応と地域間での不均衡
- 3 こども・わかもの政策と郷土愛の醸成
- 4 新たな基盤整備と地域間での不均衡
- 5 **村全体のDX推進と効率化の先にあるべき姿**
- 6 **くらしの安心・安全の確保**

植木 伸寿 議員 (会派：公明党) P.6

- 1 政策推進への取組は
- 2 **「こども・わかもの」の政策推進は**
- 3 **主権者教育への取組は**
- 4 地域の産業振興に向けた取組は
- 5 **福祉的配慮への取組状況は**
- 6 魅力ある地域活動の推進は
- 7 都市基盤整備に向けた進捗は

村上 志保 議員 (会派：光風会) P.7

- 1 こども・わかもの政策のさらなる推進について
- 2 村民生活部におけるくらしの安全課新設と環境政策課の今後の取組について
- 3 原子力政策について
- 4 **東海村産業振興ビジョンとその推進について**
- 5 移住・定住の促進について
- 6 **都市計画マスタープランの改定と石神地区の活性化について**
- 7 村民とのより開かれた意見交換の場を

### 一般質問

大名 美恵子 議員 P.8

- 1 生活困窮者の相談窓口の周知及び支援について
- 2 小学1・2年生の30人学級実施の現状について
- 3 東海第二原発の安全対策工事の進捗状況について
- 4 **東海第二原発の基準地震動に関するデータについて**
- 5 入所施設の避難計画策定状況等の把握について

宮本 翔太 議員 P.8

- 1 財政の持続可能性
- 2 市街化調整区域内空き家跡地の有効活用
- 3 子ども食堂の政策的位置づけと地域づくり
- 4 **給食費負担軽減制度への対応**

笹嶋 士郎 議員 P.9

- 1 **物価高騰対策について**
- 2 道路計画について
- 3 自治会ごみ集積所問題について

阿部 功志 議員 P.9

- 1 中部電力の不正に関連して東海第二の問題を問う
- 2 **避難弱者の安全確保の対策は**
- 3 原電の度重なる火災に対する受け止めは
- 4 中学校での憲法教育の現状は
- 5 自治会予算の使い方に村のチェックは

恵利 いつ 議員 P.10

- 1 児童生徒等の安心・安全な環境の確保に向けた取組について
- 2 学校給食無償化への取組
- 3 **松枯れなど樹木病害に対する取組について**

川崎 克彦 議員 P.10

- 1 東海村農業振興計画を問う
- 2 **消防団の担い手不足及び管轄区割り見直しを問う**
- 3 スポーツを通じた地域振興を問う
- 4 居宅介護支援事業所の経営危機を問う

松江 秀明 議員 P.11

- 1 **歩きたくなるまちづくりの推進**
- 2 デジタル技術を生かした「みまもるまちづくり」の展開
- 3 あいのりくんの利便性向上による地域交通の整備

三上 修 議員 P.11

- 1 **地域に根差した介護施設開業の動向**
- 2 エンディング・ノートと成年後見人制度の普及状況
- 3 村内国道沿線の企業進出動向
- 4 歴史と未来の交流館の展示拡大

岡崎 悟 議員 P.12

- 1 **小中学校給食費と中学校修学旅行費について**
- 2 村が契約者となる認知症賠償保険について
- 3 大規模災害時のトイレ対策について

※青字の質問を掲載。

※議会ホームページでもご覧いただけます。

東海村議会

検索



# 問 役場庁舎 1 階の改修でどう変わるのか

## 答 「書かない・待たない・迷わない」を実現



改修が予定される村役場庁舎 1 階窓口



新政とうかい  
とびた しずゆき  
飛田 静幸 議員

**問** 令和8年度は、いよいよ庁舎1階の改修が行われるが「書かない・待たない・迷わない」を実現するのは、

**答** 令和7年度に引き続きオフィス什器等を

**問** 「窓」を具体的にどう実現するのか。

**問** 合葬式墓地について、令和8年度の工事着手から供用開始までの進捗見通しについて伺う。

**答** 令和9年度の早い時期を目指す

**問** 合葬式墓地の供用開始の見通しは

削減を見込んでいます。縮により、これまでより10%から15%程度の削減を見込んでいます。

**問** この事業は住民の興味・関心が極めて高い事業であることから、単にホームページや広報紙に掲載するだけでなく、より丁寧な周知・広報に取り組みべきではないか。

**答** 令和5年度に「墓地に関する意識調査アンケート」を実施し、お墓に対する住民ニーズを把握した。その結果を踏まえ、令和6年度に「東海村合葬式墓地整備基本計画」を策定し、現在は当該計画に基づき合葬式墓地の実施設計を進めている。令和8年度には整備工事に着手し、併せて関連する条例の改正を行い、令和9年度のものなるべく早い時期での供用開始を目指す。

**問** 令和5年度に「墓地に関する意識調査アンケート」を実施し、お墓に対する住民ニーズを把握した。その結果を踏まえ、令和6年度に「東海村合葬式墓地整備基本計画」を策定し、現在は当該計画に基づき合葬式墓地の実施設計を進めている。令和8年度には整備工事に着手し、併せて関連する条例の改正を行い、令和9年度のものなるべく早い時期での供用開始を目指す。

**答** 令和5年度に「墓地に関する意識調査アンケート」を実施し、お墓に対する住民ニーズを把握した。その結果を踏まえ、令和6年度に「東海村合葬式墓地整備基本計画」を策定し、現在は当該計画に基づき合葬式墓地の実施設計を進めている。令和8年度には整備工事に着手し、併せて関連する条例の改正を行い、令和9年度のものなるべく早い時期での供用開始を目指す。

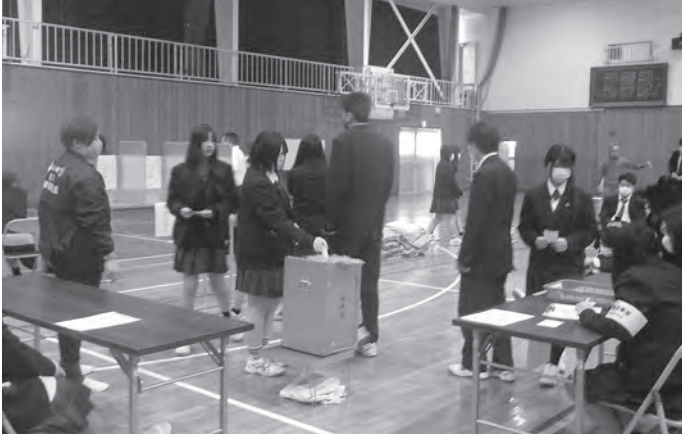
**問** 合葬式墓地の供用開始時期や運用方法などについて、担当課にも住民からの問い合わせが寄せられている状況である。自治会長連絡会議や民生委員・児童委員協議会の定例会などの場を活用した周知は、情報を広く、直接お届けする上で、非常に効果があると認識しており、適切な時期に設ける方向で検討していく。



合葬式墓地のイメージ (八戸市ホームページから引用)

# 問 「こども・わかもの」のまちづくりは

## 答 推進の基盤づくりへ着手する



若者の選挙啓発のための主権者教育の様子（東海高校）



公明党 議員  
うえき 植木 しょう 伸 議員

**問** 若者の主体的参画は地域の未来に不可欠である。「こども・わかもの」のまちづくりをどう推進するか。

**答** 令和5年度から取り組みを推進し施策を積み上げ土台を整えた。令和8年度は、拠点・居場所の方針をまとめ、

コーディネーターの配置や学生ユーザーに養成的に加える、つながるプロジェクトを地域との接点づくりとして展開する考えである。

**問** 子どもの主権者教育にどう取り組むのか

**答** 社会・政治に関わる姿勢を育む

**問** 主権者教育をどう推進するか伺う。

**答** マスメディアやSNS等の情報を正しく扱うため、情報リテラシーを育成している。

**問** 若者と政治の間には距離があるとの指摘がある。自分の行動で社会は変わる。主権者教育の推進の考えは。

**答** 若い世代の政治参加と、若者の主体的参画が地域の未来を創るまちづくりの足掛かりとなるよう、主権者教育に取り組む。

**問** 障がい者の就労支援に向けた考えは

**答** 働く意欲のある方の雇用促進に努める

**問** 就労継続支援B型利用者が増えている。取り組みを伺う。

**答** 雇用促進に向けて、公共施設で就労継続支援事業所の物品販売や、優先的な物品購入と業務委託に取り組んでいる。また、障がい者総合支援協議会での協議を踏まえ、障害福祉サービス事業所と企業の連携を促進したい。

会の確保にとどまらず、経済的自立の支援、社会参加の拡大、自己実現の機会の確保などの面から重要な課題と考える。近年は、就労による地域経済の担い手確保としての側面もある。今後、福祉、教育、保健との連携体制を強化し、働く意欲のある方が働き続けられる社会の構築に努める。

**問** 障がいがあっても、意欲のある方が前向きに働けるよう環境整備に努めることが重要。見解を伺う。

**答** 障がいのある方の就労は、単なる就労機



役場庁舎1階で行われる障がい福祉事業所による物品販売

# 問 産業振興ビジョンの今後の推進は

## 答 研究分野と発電分野を中心に推進



光風会  
むらかみ 村上 志保 議員



村ホームページで公開されている  
東海村産業振興ビジョン

**問** 東海村産業振興ビジョンは付加価値額の約7割を占める専門・科学技術、業務支援サービス業、電気業を基軸とし、関連産業を中心に推進する内容となっている。本ビジョン策定の手続きは。

**答** 令和7年2月末から3月中旬までパブリックコメントを実施し、庁議を経て策定した。

**問** 本ビジョンでは新規需要の想定額と経済波及効果の試算が示されているが、そのシナリオ設定の前提条件は。

**答** GX実現や原子力利用に関する国の政策の方向性が維持される

**問** 都市計画と石神地区活性化の方向性は

**答** 石神地区活性化へ規制緩和を検討

**問** 次期都市計画マスタープラン改定の方向性と取り組み内容を伺う。

**答** 社会動向の変化や上位計画との整合を図り、「まちづくりの

**問** 石神地区活性化の具体的な取り組み内容は。

**答** スマートインターチェンジや国道整備により交通利便性が向上することを踏まえ、物流機能や企業立地を見据えた土地利用を検討する。交通基盤整備が進むことで、石神地区における市街化調整区域の規制緩和

**問** 市街化調整区域内でも住宅等の建築を可能とする区域指定の早期導入について、検討の考えはあるか伺う。

**答** 導入には土地条件や区域バランスの整理が必要であり、今後石神地区活性化の取り組みの中で検討を進める。

**問** 国のGX政策や原子力政策は、政治状況や国際情勢により変動する可能性がある。前提が崩れた場合のリスク分散や備えについてどのように考えているか。

**答** 国の政策動向や関連産業の動向を注視し、状況の変化に応じて施策の重点や内容を柔軟に見直していく。

**問** 石神地区活性化の具体的な取り組み内容は。

**答** 導入には土地条件や区域バランスの整理が必要であり、今後石神地区活性化の取り組みの中で検討を進める。



4車線化が行われる国道6号

## 問 東海第二も 基準地震動データの調査を

答 国が必要な対応を取るものと認識する



おおな みえこ 議員  
大名美恵子

**問** 中部電力が浜岡原発の基準地震動のデータを不正に過小評価した問題に関し、原子力規制委員会の山中委員長は「信頼が損なわれた。白紙になると考える」と述べる一方、「水平展開する考えはない」とした。村から水平展開を求めないか。

**答** 1月14日付で原子力規制庁から各事業者に注意喚起が行われ、「今後の中部電力の原因究明、再発防止策等によっては、追加の対応等を求める可能性がある」とされているため、村から水平展開を求める考えはない。



最近の東海第二原発（2026年3月撮影）

**問** 東海第二原発の安全性の前提となる基準地震動算出に関わった地質検査会社のうちの2社は、浜岡原発の不正に関わった会社であることが、共産党国会議員団が過去の資料から調べあげ判明している。中部電力と同様の調査を行なうよう規制委員会に求めるべき。

**答** 国において事業者への必要な対応が取られると認識しているため、現時点では調査等を求める考えはない。

## 問 給食費負担軽減への対応は

答 負担ゼロ・質を維持・総選挙も拡充



新政とうかい  
みやもと しょうた 議員  
宮本 翔太

**問** 4月から小学校の給食費はどうなるか。

**答** 令和8年4月より、国・県から小学生1人当たり月額5200円が交付される。本村の実際の給食費は月額約5900円のため、差額の約700円は引き続き村が負担し、保護者の負担が生じないよう対応する。食物アレルギー等で給食を食べられない児童の保護者に対しても、補助金交付等の負担軽減策を検討している。

**問** 給食の質は下がらないか、物価高騰時の対応は。

**答** 保護者負担の軽減



小学6年生と中学3年生が選んだ人気メニューが提供される給食総選挙

と併せて給食の質を維持することは必要と考えており、献立や食材の調達方法等の工夫により質を維持し、保護者への周知を図りながら支援を継続する。今後、差額が拡大する可能性もあるが、当面は工夫を重ねながら保護者負担が生じないよう努める。また、子どもたちの声を取り入れる給食総選挙の参加学年を増やすなど、より多くの子どもたちが関われるよう取り組んでいく。

### 問 物価高対策が他市町より少ないのでは

### 答 限られた財源で直接的な支援を最優先



新政とうかい 議員 笹嶋 士郎

**問** 村の物価高対策で、国の交付金を活用した「6千円の現金給付」について、財力があるにもかかわらず、他自治体より見劣りする内容である。国交付金は、財政力によって減額される仕組みだが、減額部分を独自財源で補填し、より手厚く実施すべきではなかったか。

**答** 総事業費2億5千万円のうち、4千4百万円を村の一般財源から充当する。国交付金は、財政力指数の高い本村では交付額が抑えられているが、限られた財



村民1人当たり6,000円の現金支給を実施する東海村役場

源の中でも、村民の皆さまへの直接的な支援を最優先に考え、実施を判断した。

**問** 他自治体と比較すると給付額が低いことも事実。財源として、病院会計の内部留保資金の活用、財政調整基金28億円の債権運用を一部解約し活用するなどして、他自治体並みの給付額にすべきではなかったか。

**答** 提案内容は意見として受け止めるが、現時点で採用する考えはない。物価高対策は、今後も柔軟かつ的確な対応に努める。

### 問 避難が困難な人への対応と課題は

### 答 対象者は避難行動要支援者に登録を



あべ こうし 議員 阿部 功志

**問** 原子力災害時、在宅介護の人へのヘルパーの支援は。

**答** 支援者自身の安全確保が最優先で、ヘルパーの支援は通常のサービスタスクの範囲外。避難行動要支援者として登録いただきたい。

**問** 社会はエイブリズム（健常者中心主義）の克服が必要だ。

**答** 本村の高齢の独り暮らし1368世帯。自宅での介護者972名。障がい者1672名（重複あり）。原則この全てを避難行動要支援者登録し、要介護者も登録基準の見直しを。しかし登録は今年1月



要支援者の避難所の一つである総合福祉センター「絆」

で93名のみ。避難計画は避難が困難な人への視点が不十分。具体的な対応と課題は。

**答** 自家用車か一時集合場所からのバスで避難を。避難行動要支援者として対象となる方には漏れなく登録してもらう必要がある。情報の把握に注力し、制度を周知する。

**問** 村内の病院、介護施設等の避難計画の進展具合、その課題は。

**答** 施設の計画策定には避難先、避難手段等、課題があると県から聞いている。

## 問 海岸線の白砂青松を守る施策は

### 答 クロマツ林『リジェネプロジェクト』



光風会  
恵利 いつ 議員

**問** 村松海岸で松くい虫によるマツ枯れが広がっている。千々乱風伝説の砂嵐を防ぐためにも村松海岸の松林を守ることは大切。被害は海岸松林の何割程度に広がっているか。被害拡大防止のためにこれまで投入した費用とその対応は。

**答** 平成24年頃から被害が拡大し、現在は全体の5〜6割程度に広がっている。被害拡大防止と松林再生のために平成28年度からの10年間で約6000万円投入し、薬剤散布や枯れ木の伐倒およびくん蒸処理等



村松海岸の松林を守るためにスーパーエリートの高抵抗性クロマツ苗を植樹

で対応。加えて、抵抗性クロマツ苗の植樹等を行っている。また、「東海村松くい虫防除対策連絡会」を組織し、適切な防除対策の推進に努めている。

**問** 被害が広がると、防除対策に人手とお金がかかる。県内で外来カミキリムシによるサクラ枯れ被害が発生。拡大している。サクラがクロマツと同じ道をたどらないためにも、早期の対策が不可欠。

**答** 情報の共有を強化し、早期の発見と適切な対応に努める。

## 問 消防団員不足と管轄区割り再編は

### 答 段階的に進めることも含め検討が必要



新政とうかい  
かわさき かつひこ 議員

**問** これまでの担い手不足への対応と成果、管轄区割り見直しの取り組み状況と今後の方向性は。

**答** 担い手不足は全国的課題であり、村では報酬額の段階的引き上げや広報を、各分団では地域イベント参加による入団を促進。現時点で成果は明確ではないが、他市町村の事例も参考に引き続き対応する。管轄区割り見直しは、分団長会議で現7区分をコミセン同様の6区分に再編する案を提示し、各分団長や団員と情報共有・意見照会に取り組んできた。

今後、意見集約後に円滑な再編を進める。

**問** 人口動態や地理的条件など、客観的データに基づく検討は。

**答** 重要な視点であり、今後の研究課題の一つとする。



毎年開催されている消防団夏季訓練

**問** 消防団改革に向けた実行体制は。

**答** 検討組織の設置は意見照会結果を踏まえ判断。現状の団員数は高充足率で、災害対応の協力体制も構築済みである。再編は地域理解や影響の大きさを見極めつつ、段階的に進めることも検討が必要。

## 問 歩きたくなるまちづくりの推進は

答 ハード・ソフト両面で整備を進める

**問** 健康寿命の延伸や村民の幸福度向上に向け、既存施設の利活用や回遊性の向上、また新たなスポットの選定など、村全体で「歩きたくなる環境」をどう構築していくのか。

**答** 安全で快適な歩行空間を確保するために幹線道路の歩道再整備方針を策定する。幹線道路等の整備に合わせ、公園や豊かな自然環境を生かしたコースの検討を進め、スマホアプリの健康ポイント付与等の施策とも連動し、引き続きウォーキングの推奨、啓発に努める。



新政とうかい  
まつえ ひであき 議員  
松江 秀明



季節の風を感じる細浦の村道

**問** 物理的な歩道整備が困難な場所において、歩行者の安全を確保するための具体的な整備方針と村民が歩きたくなる動機づけや健康寿命延伸に向けた村の考えを具体的に伺う。

**答** 生活道路は歩道整備が困難な路線が多いため、デジタル技術の活用について調査・研究する。ウォーキングの継続は環境要因が大きく左右するため、新しいルート整備や他のイベントとの連携を図りながら、運動習慣の定着に向けて取り組んでいく。

## 問 介護施設誘致の方向性は

答 誘致に向けて地域ニーズを把握

**問** 本村でも介護施設利用者の施設探しが難航し、入所待ちや近隣市の施設に入所するケースが散見される。地域に根差した介護事業者の誘致は喫緊の課題。本村に開業を希望する介護事業者の動向および介護施設誘致の方向性は。

**答** 地域に根差した介護事業所の必要性を認識して、令和6年度に、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）および小規模多機能型居宅介護（通い、泊まり、訪問を一つの事業所で受けられる介護保険サービス）を提



新政とうかい  
みかみ おさむ 議員  
三上 修



須和間地内の村有地（南台保育所跡地）

供する事業者を公募したが、応募に至っていない。

**問** 介護施設誘致のために、村有地のさらなる開放や土地利用条件の部分的な拡大が必要と考えるが見解は。

**答** 介護施設誘致のために村有地を提供するなどの土地利用計画は現在のところないが、村民に必要なサービスが適切に整備されるよう、地域ニーズを的確に把握するとともに、引き続き事業者参入の動向を見守る。

## 問 中学校給食費の無償化を迅速に

### 答 1人当たり年額 14,300 円を村が負担



公明党  
おかざき さとる 議員

**問** 令和8年4月から小学校給食費の無償化が始まる。中学校給食費の無償化も、同時に行うべきである。しかし、国の中学校給食費無償化の方針が、具体的に示されていない。中学校給食費の無償化には、予算がいくら必要か。令和5年度は、1人当たり年間約8500円の給食費支援を実施した。現在、本村からの支援額は、いくらなのか伺う。

**答** 生徒数1150人。1人分の給食費4600円と実施月11か月で積算すると約5800万円の予算が必要であ

る。また、学校給食費には、精米代・牛乳代の一部等の支援をしている。現在の中学校給食費は、1人当たり月額約5900円であることから、差額の1300円を村が負担している。年額では1人当たり14300円の支援をしている。この差額分を村が負担することで、保護者の負担軽減を図っている。今後は国の方針に合わせて、無償化を実施していきたい。



学校で提供された給食

## 委員会メンバーが変わりました

### 1 議会運営委員会（任期2年）

◎委員長 ○副委員長

委員会名	人数	所属議員名	目的
議会運営委員会	8人	◎河野 健一 大内 則夫 越智 辰哉 ○寺門 恵利 定範 いつ 笹嶋 士郎 飛田 静幸 岡崎 悟	・議会の運営に関する事項 ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ・議長の諮問に関する事項

### 2 常任委員会（任期2年）

委員会名	人数	所属議員名	目的
総務委員会	6人	◎飛田 静幸 河野 健一 ○宮本 翔太 吉田 充宏 大名美 恵子 植木 伸寿	・総合戦略部、総務部、村民生活部、会計課、議会事務局の所管に属する事項 ・他の委員会の所管に属さない事項
文教厚生委員会	6人	◎三上 修 恵利 いつ ○松江 秀明 阿部 功志 大内 則夫 川崎 裕弥	・福祉部、教育委員会の所管に属する事項
建設産業委員会	6人	◎寺門 定範 越智 辰哉 ○川崎 克彦 笹嶋 士郎 岡崎 悟 村上 志保	・産業部、建設部、農業委員会の所管に属する事項
一般会計予算決算委員会	8人	◎飛田 静幸 恵利 寺門 定範 ○川崎 克彦 河野 健一 笹嶋 士郎 大名美 恵子 植木 伸寿	・一般会計の予算および決算に関する事項
特別会計予算決算委員会	9人	◎岡崎 悟 越智 辰哉 松江 秀明 ○川崎 裕弥 阿部 功志 村上 志保 大内 則夫 三上 修 宮本 翔太	・特別会計および企業会計の予算および決算に関する事項

### 3 議会報編集委員会（任期2年）

委員会名	人数	所属議員名	目的
議会報編集委員会	7人	◎寺門 定範 恵利 いつ 宮本 翔太 ○岡崎 悟 越智 辰哉 大名美 恵子 植木 伸寿	・議会報発行に関して必要な事項を協議、調整すること

総務  
委員会

## ひたちなか・東海クリーンセンターを視察しました

総務委員会ではひたちなか地区の調査視察を目的として、1月28日にひたちなか・東海クリーンセンターを視察しました。施設の概要説明を受け、その後、プラットホームやごみピット、灰溶融炉など主要設備を見学し、ごみ処理の流れを確認しました。焼却炉で発生した熱を利用した発電により施設内の電力を賄う仕組みや、処理後に発生する灰を資源として再利用する取り組みなど、環境負荷を抑えたりリサイクル型施設であることを実感しました。また、炉内に残った不燃物の展示を通して、施設を長期的に維持し、効率的な処理を行うためには、村民一人一人の適切な分別が欠かせないことを改めて認識しました。



ひたちなか・東海クリーンセンターの施設内を見学する委員

議会報編集  
委員会

## 町村議会広報クリニックを受講しました

議会報編集委員会では、より分かりやすく、手に取りやすい「議会だより」の作成を目指し、編集委員全員のスキル向上を目的として、2月20日に町村議会広報クリニック（東京都千代田区）を受講しました。

当日は、編集に関する技術的な手法を学ぶとともに、本村の議会だよりについて直接アドバイスをいただくことができました。今回のクリニックで得た知見を生かし、今後も皆さまに議会での審議内容や村政の課題をより分かりやすくお伝えできるよう、議会だよりの作成に努めていきます。



町村議会広報クリニックの様子

原子力問題  
調査特別  
委員会

## 日本原子力発電株式会社を視察しました

原子力問題調査特別委員会では、3月19日に原子力施設の現状把握を目的として、日本原子力発電株式会社が実施している東海第二発電所の安全性向上対策工事および鋼製防護壁基礎部モックアップ施設（日立市大和田町）の視察を行いました。

実規模で行われている鉄筋組立試験やコンクリート充填性確認試験の様子を見学しました。また、緊急時対策所建屋の建屋内部や屋上階から安全性向上対策工事の進捗状況を確認しました。今後も、村内の原子力施設について継続的に視察を実施していく予定です。



鋼製防護壁基礎部モックアップ施設で説明を受ける様子

# 就任あいさつ

新たな正副議長が就任しました。



議長 <sup>よしだ みちひろ</sup> 吉田 充宏 (4期)

このたび、議員各位のご推挙をいただき、議長の重責を担うこととなりました。

議長に就任するに当たり、「公正公平な議会運営」をお誓いし、円滑かつ民主的に推進していきます。

東海村のさらなる飛躍のため、執行部とは適切な緊張感を保ちつつ、時には厳しく行政をチェックし、時には建設的な提言を行っていきます。



副議長 <sup>うえき しんじ</sup> 植木 伸寿 (4期)

このたび、議員各位からご推挙をいただき、副議長の重任を拝命いたしました。責任の重さに身の引き締まる思いであります。議長を補佐し、円滑な議会運営が図られるよう努めてまいります。そして、誰もが安心して暮らせる、豊かで愛着と誇りを持てる地域社会の実現に向け全力で取り組んでまいり所存です。村民の皆さまには、今後とも一層のご指導とご理解を賜りますようお願いを申し上げます。

## 表紙写真の紹介



昭和 37 年に創設された石神幼稚園が、3月20日をもって63年の歴史に幕を閉じました。閉園式では、子どもたちが元気いっぱいの歌声を響かせていました。

ここで育まれた友達・家族・地域との絆は、かけがえのない宝物です。ありがとう、石神幼稚園。

傍聴から  
はじめよう!

どなたでも傍聴できます。役場議会棟2階にお越しください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は42名



## 6月 定例会日程(予定)

期日	時間	内容
6月1日(月)	午前10時~	議案上程
6月9日(火)	午前10時~	一般質問
6月10日(水)	午前10時~	一般質問
6月11日(木)	午前10時~	一般質問

についてはインターネットでライブ配信



映像配信ページ

期日	時間	内容
6月12日(金)	午前9時~	予算決算委員会
6月15日(月)	午前10時~	予算決算委員会
6月18日(木)	午前10時~	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

※議案上程・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

議会報  
編集委員会

委員長  
委員

寺門 定範  
大名美恵子

副委員長  
恵利 いつ

岡崎 悟  
越智 辰哉

植木 伸寿

宮本 翔太

